

自分の方言を大事にしてほしい

日野中学校で方言講座

6月27日、日野中学校で方言講座が開かれました。これは、地域で輝いている人に講演を行ってもらい、生徒に「日野町を誇りに思ってもらいたい」と毎年実施されているものです。今年も奥日野ガイド倶楽部の杉本準一さん（根雨）による方言講座が行われました。

杉本さんは、自身の方言研究の紹介や方言集め・研究をすることになったきっかけなどを話しました。

また、杉本さんは「将来、都会など地元から出て言葉の壁にぶつかると思う。しかし、方言をうま



「方言は人を元気にさせる」と杉本さん



杉本さんの話に熱心に耳を傾ける

く活用することで、友だちづくりの手段やきっかけになる。方言を話すことは恥ずかしいことではない。傲慢できるようになってほしい」と話したほか、「大人になるとふるさとのいろいろな風景とともに方言も体に染みついていく。みんなも日野弁をもっと大事にして、心の中に刻んでほしい」と生徒に語りかけていました。

生徒は、杉本さんの話に熱心に耳を傾けながら、方言の持つ力や大切さを感じている様子でした。

本物の人形劇にワクワク

人形劇団クラルテの「おひさま劇場」



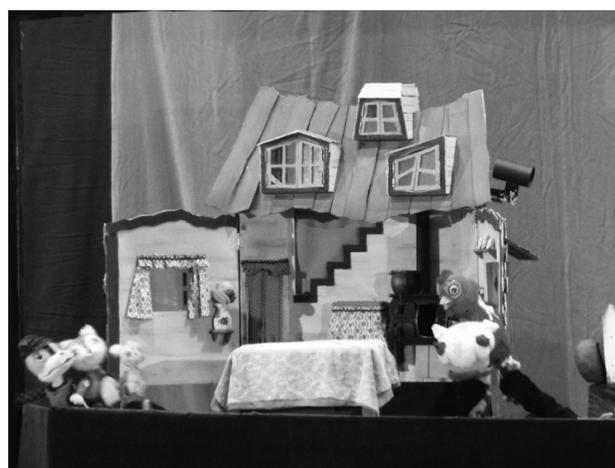
親子で人形劇に夢中

小さな時から本物にふれて豊かな感性を育てたいと町内で活動する「親子でアートを楽しむ会おひさま」（田口郁江会長）の主催で、6月19日、大阪の人形劇団クラルテの「おひさま劇場」が開催されました。

おひさま劇場は、朝と夜の2回公演で、朝の部は、ひのっこ保育所で、「○△□なにしてあそぼう！」「赤いめんどり」が上演されました。会場には、園児や子育て支援室おひさまひろばの親子や家族など、多くの人が詰めかけ、人形劇を楽しく鑑賞しました。

夜の部は文化センターに場所を移し、「絵姿えすがたにようぼう」「トウモロコシはだれのもの」の2本が上演され、こちらも多くの親子や家族が鑑賞しました。

子どもたちは、人形の動きやしぐさに魅了され、参加者からは「やっぱり生はいいですね」「親も子どもステキな時間をすごせました。また観たい」などの感想が聞かれました。



人形のコミカルな動きが子どもたちを魅了



会場全体が大いに盛り上がる

サロンコンサート



H202の皆さんも歌と演奏で会場を盛り上げました



太枝一正さん（左）らによる演奏

今回は、町内で飲食店を営む太枝一正さん（野田）と友人の3人、太枝さんの弟で北九州市在住の太枝健二さん家族と友人の5人で結成しているH202の皆さんによる演奏が行われました。

太枝さんらはジャズやボサノバなど雰囲気のある音楽で会場を盛り上げ、H202の皆さんはジャズやサンバのほか、CMやテレビでおなじみの「ウイスキーが大好きでしょ」や「情熱大陸のテーマ」を演奏しました。

来場者は手拍子や体を揺らせるなど演奏を楽しみ、会場全体が大いに盛り上がっていました。

7月6日、町文化センターホワイエでホールと共に歩む会（木島泰会長）主催による「サロンコンサート・太枝一正とゆかいな仲間」ジャズ&ポピュラーコンサートが開かれ、町内外から約80名が来場しました。

サロンコンサートは、町の人たちに、素晴らしい音楽を気軽に聴いてもらいたいと町文化センターや地域の集会所などで開かれています。

午後のひとときを味わう

ホールで楽しむレコード鑑賞会



思い思いにレコードを味わう

町文化センターホールで、6月の毎週木曜日と14日からの毎週土曜日に、ホールで楽しむレコード鑑賞会が開かれました。

これは、レトロで独特の音質のあるレコードを、音響設備の整った町文化ホールで聴いてほしいと、町文化センター・図書館と日野町オーディオ愛好会「音声の会」の共催により行われたものです。

訪れた人は、ジャズやクラシック、ポップスなどが流れる中、レコードの音色の奥行きと午後のひとときを思い思いに味わっていました。

なお、レコード鑑賞会は9月にも行われる予定です。

明るいまちづくりを訴える

社会を明るくする運動



熱心にあいさつと呼びかけを行う

7月は「社会を明るくする運動」の強調月間。これに合わせて、初日の7月1日、町内各地で関係者らによる街頭啓発活動が行われました。

この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

JR根雨駅では、朝の通勤・通学の時間帯に合わせて関係者らが集まり、高校生らに呼びかけながら啓発用品を配布したほか、町内の小中学校などにも訪問し、明るいまちづくりを訴えかけました。